

1 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

古代オリエントにおいて、ヘブライ人は唯一神 を信仰する独自の一神教を創始した。彼らは預言者 に率いられて、エジプトのファラオの圧政から脱出したという伝承もっていた。ヘブライ人は統一王国を形成し、その王国は前10世紀頃にダヴィデ王とソロモン王のもとで最盛期を迎えた。しかしソロモン王の死後、王国は北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂した。その後、イスラエル王国は に滅ぼされた。またユダ王国も新バビロニアに征服されて、多くの住民がバビロンに連れ去られた。

やがて ^[エ]イラン人(ペルシア人)が新バビロニアを征服し、ユダヤ人(ヘブライ人)をバビロンから解放した。帰国したユダヤ人はエルサレムに の神殿を再興し、^[オ]ユダヤ教を確立した。その後、ユダヤ人の居住するパレスチナは^[カ]ギリシア系の王朝に支配された。ユダヤ人は前2世紀半ば以降、一時独立を勝ち取ったが、やがてローマ帝国の支配下に置かれた。

当時、ユダヤ人社会を指導していた祭司や、律法の実行を重んじる はローマの支配を受け入れ、貧困に苦しむ民衆の救済への待望には目を向けなかった。ナザレのイエスは、そうしたユダヤ教のあり方を厳しく批判した。このことに危機感を抱いたユダヤ人の指導層は、彼をローマ帝国に対する反逆者として^[ク]属州総督に訴えた。その結果、イエスは十字架にかけられて処刑された。

イエスの死後、弟子たちのあいだでイエスが復活したという信仰が広がり、イエスを救世主と見なす^[ケ]キリスト教が成立した。^[コ]弟子たちはユダヤ人以外の人々にも積極的に布教を行い、ローマ帝国の各地に教会が設立された。

設問01 に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アトン
- B アーリマン
- C アフラ＝マズダ
- D ヤハウエ(ヤーヴェ)

設問02 に入る人物名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アブラハム
- B イサク
- C ヨセフ
- D モーセ

設問03 に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ヒッタイト
- B アッシリア
- C リディア(リュディア)
- D マケドニア

設問04 下線部 [エ] に関連して、新バビロニアを滅ぼし、ユダヤ人を解放した王の名前を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ダレイオス1世
- B ダレイオス3世
- C キュロス2世
- D クセルクセス1世

設問05 下線部 [オ] の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ユダヤ教の最後の審判の思想は、マニ教の影響を受けている。
- B ユダヤ教の教典はキリスト教においては『旧約聖書』と呼ばれた。
- C 神によってイスラエルの民が選び出され、救済されるとする選民思想を特徴とする。
- D ユダヤ教の教典には十戒をはじめとする多くの戒律が記されている。

設問06 下線部 [カ] について、これらギリシア系王朝が存続していたヘレニズム時代に関する説明として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ヘレニズム時代はセレウコス朝の滅亡とともに終了した。
- B ヘレニズム世界ではコイネーと呼ばれるギリシア語が共通語として使用された。
- C エジプトのアレクサンドリアに大図書館を併設したアカデメイアが設立された。
- D 禁欲を説くエピクロス派や精神的快楽を最高善とするストア派など、個人の内面的幸福を追求する哲学が発展した。

設問07 に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ネストリウス派
- B パリサイ派
- C アリウス派
- D アタナシウス派

設問08 下線部 [ク] に関連して、ローマの属州についての説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 属州とはイタリア半島以外のローマの支配地を指し、ポエニ戦争によって獲得したシチリアが最初の属州であった。
- B 徴税請負人が徴税を担当したが、しばしば住民を搾取し、蓄財を行った。
- C 同盟市戦争を契機として、すべての属州民にローマ市民権が付与された。
- D 属州からの安価な穀物の流入により、中小農民は大きな打撃を受け没落した。

設問09 下線部 [ケ] の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A キリスト教はイエスの十字架上の死を、人類全体を救済する贖罪の行為と解釈した。
- B キリストとはヘブライ語で救世主を意味するメシアのギリシア語訳である。
- C 313年のミラノ勅令により、キリスト教はローマ帝国の国教とされた。
- D キリスト教の教典である『新約聖書』の「新約」とは、神との新しい約束を意味する。

設問10 下線部 [コ] に関連して、信仰義認論を説いて、キリスト教の異邦人への伝道に尽力した人物の名前を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ペテロ (ペトロ)
- B パウロ
- C ピラト (ピラトゥス)
- D キケロ

2 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

6世紀後半、ア朝とビザンツ帝国（東ローマ帝国）の争いによって、それまでの交易ルートが途絶え、アラビア半島西部をまわる新たな交易ルートが活用されるようになった。その拠点として繁栄したのがウであった。

イスラーム教は、610年頃、ウに住むクライシュ族の商人ムハンマドが唯一神アッラーの啓示を受け、預言者としての活動を開始したことで広まった。一方、初めてイスラーム教徒（ムスリム）の共同体（ウンマ）が建設されたのは、ムハンマドが移住したメディナであった。

ムハンマドの死後、ウンマは正統カリフによって率いられた。アラブ人はカリフの指導のもとに大規模な征服活動を開始した。征服地には多くのアラブ人が移住し、アラブ人ムスリムの支配領域は拡大したが、イスラーム教徒の間にはカリフ権をめぐる対立が生じた。その結果、第4代正統カリフが暗殺され、彼と対立していたクが新たにカリフとなった。こうして誕生したのがウマイヤ朝である。

ウマイヤ朝を滅ぼしたアッバース朝ではイスラーム法が体系化されるとともに、ムスリムであれば出身民族や階層に関係なく登用された。9世紀以降になると、帝国内には独立の王朝がつぎつぎと成立し、カリフの権限が及ぶ範囲は次第に縮小した。10世紀初めに北アフリカで起こったファティマ朝は、アッバース朝に対抗してカリフの称号を用いた。

こうした政治的な分裂がみられる一方、ムスリム商人の活発な商業活動によりイスラーム教が伝搬し、イスラーム世界はアフリカ、中央アジア及び東南アジアなどにも拡大していった。各地に誕生した王朝のもとでは、地域ごとに特徴を持った文化が開花した。その例としては、イラン＝イスラーム文化などが挙げられる。

西アジアのイスラーム社会は、都市を中心に発展した。これらの都市を結ぶ交通網が整備され、新しい知識や技術の伝搬に寄与した。また、文明圏としてのイスラーム世界の統合性は、アラビア語の共通語化やイスラーム法の定着などにより維持された。

設問11 アに入る王朝名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アケメネス（アカイメネス）
- B ササン
- C サーマーン
- D トゥールーン

設問12 下線部 [イ] について、該当する2つのルートの組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 海の道 オアシスの道
- B オアシスの道 王の道
- C 王の道 草原の道
- D 草原の道 海の道

設問13 に入る地名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アデン
- B サマルカンド
- C ダマスクス
- D メッカ（マッカ）

設問14 下線部〔エ〕の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ムハンマドは、偶像崇拝を否定した。
- B ユダヤ教徒とキリスト教徒を「啓典の民」とみなした。
- C 『クルアーン（コーラン）』は、ムハンマドの生存中に編纂された。
- D 公正な取引など、商人の倫理を重んじる宗教として発展していった。

設問15 下線部〔オ〕について、ムハンマドがメディナへ移住して以降の出来事として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アラビア半島のゆるやかな統一が実現された。
- B イエルサレムが聖地ではなくなった。
- C ヒジュラ（聖遷）の年がイスラーム暦の紀元とされた。
- D 多神教徒との数度の戦争が発生した。

設問16 下線部〔カ〕について、初代正統カリフに就任した人物名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アブー＝バクル
- B アリー
- C ウスマーン
- D ウマル

設問17 下線部〔キ〕について、征服地に建設された軍営都市の名称を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アター
- B ミスル
- C ワクフ
- D ミッレト

設問18 に入る人物名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ガザーリー
- B フワーリズミー
- C マンスール
- D ムアーウィヤ

設問19 下線部〔ケ〕について、この王朝の政策として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アラブ人が特権を有し、異民族を支配していた。
- B カリフの位が世襲された。
- C 金貨・銀貨を鑄造し、アラビア語を公用語化した。
- D 征服地の全ての住民にジズヤが課された。

設問20 下線部 [ケ] について、この王朝が征服した国・地域として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 西ゴート王国
- B フランク王国
- C 北アフリカ
- D 西北インド

設問21 下線部 [コ] について、アッバース朝以降に社会進出を果たした、征服地で新たにイスラーム教徒となった非アラブ人の改宗者の呼称を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A イマーム
- B ウラマー
- C マワーリー
- D マムルーク

設問22 下線部 [サ] について、10世紀前半にカリフからブワイフ朝君主に与えられた称号を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A スーフィー
- B スルタン
- C 大アミール
- D ワジール (ワズィール)

設問23 下線部 [シ] について、ファーティマ朝を倒したアイユーブ朝が導入した徴税に関する制度を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アーヤーン制
- B イクター制
- C ティマール制
- D デヴシルメ制

設問24 下線部 [シ] について、ファーティマ朝の宗派 (①) と、イスラームの二大宗派における位置付け (②) の組み合わせとして適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ①シーア派 ②少数派
- B ①シーア派 ②多数派
- C ①スンナ派 (スンニー) ②少数派
- D ①スンナ派 (スンニー) ②多数派

設問25 下線部 [ス] について、彼らが金と交換するために岩塩をもって訪れたアフリカの王国の名称を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アクスム王国
- B ガーナ王国
- C クシュ王国
- D アワド王国

設問26 下線部〔セ〕について、イスラーム諸王朝の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 北アフリカでは、モロッコを中心としてベルベル人が11世紀に建てたムワッヒド朝がムラービト朝に滅ぼされた。
- B トルコ人のカラハン（カラ＝ハン）朝の下では、東・西トルキスタンをあわせてこの地方にイスラーム文化が導入された。
- C イル＝ハン国の君主ガザン＝ハンがイスラーム教を国教に定め、イスラーム文化の保護にも尽力した。
- D アフガニスタンを拠点とするガズナ朝がインドへの侵攻を繰り返した。

設問27 下線部〔ソ〕に関連して、ペルシア語で書かれた『集史』の作者を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ウマル＝ハイヤーム
- B トゥグリル＝ベク
- C フィルドゥシー
- D ラシード＝アッディーン

設問28 下線部〔タ〕に関連して、ファーティマ朝などの首都ともなったカイロに現存する、イスラーム最古の大学・教育機関が併設されているモスクの名称を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アズハル＝モスク
- B イマームのモスク
- C ウマイヤ＝モスク
- D スレイマン＝モスク

設問29 下線部〔チ〕に関連して、タラス河畔の戦いを機にイスラーム教徒が唐軍の捕虜から学んだ技術を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 活版印刷術
- B 製紙法
- C 測地術
- D 錬金術

設問30 下線部〔ツ〕について、主にイスラーム法学を教育研究するための施設の名称を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A スーク
- B マドラサ
- C バザール
- D ミナレット

3 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

[ア]10世紀初期に唐が滅亡すると、中国はおよそ50年に及ぶ分裂状態に陥った。しかし、10世紀後半になると、北宋が建国された。北宋は、第2代皇帝（太宗）の時代に中国のほぼ全域を再統一した。 [イ]初代皇帝（太祖）から第2代皇帝の時代には、支配体制の確立が進められた。

中国周辺の内陸地域では、唐の滅亡以降、さまざまな勢力の活動が展開された。たとえば、[ウ]10世紀には遼の建国、11世紀には西夏の建国、[エ]12世紀には金の建国などがあり、さらに13世紀初期には大モンゴル国（モンゴル帝国）の成立が宣言されている。宋（北宋と南宋）はこうした周辺の諸勢力への対応にかなりの苦勞を強いられた。

ただし、[オ]技術面に目を転じるならば、宋代はけっして低調な時代ではなく、むしろめざましい発展をとげた時代といえるかもしれない。

設問31 下線部 [ア] について、唐末期から北宋時代までの期間に発生した社会の変化として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 唐末期以降、漢族以外の五民族が華北に流入して建国した。
- B 唐末期以降、門閥貴族は莊園を失って没落した。
- C 唐末期以降、新興地主（形勢戸）が勢力を拡大した。
- D 宋代の官僚の多くは新興地主の子弟であった。

設問32 下線部 [イ] について、北宋の初代皇帝や第2代皇帝の政治の方針として適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 文治主義の推進
- B 新法党の改革実施
- C 台湾島の支配強化
- D 武断政治の推進

設問33 下線部 [ウ] について、遼に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 朝鮮半島の新羅を滅ぼした。
- B 五代の王朝のひとつである後晋に燕雲十六州を割譲させた。
- C 宋とは澶淵の盟という講和条約を結んだ。
- D 二重統治体制をとり、遊牧民には部族制を、農耕民には州県制を採用した。

設問34 下線部 [エ] について、金に関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 女真族の完顔阿骨打（太祖）が金を建国した。
- B 遼を滅ぼした直後に西夏も滅ぼして華北を支配した。
- C 遼や西夏を建国した民族と同様に、独自の文字を考案した。
- D 金代には道教の一派である全真教が成立した。

設問35 下線部 [オ] について，宋代における技術の発展として適切なものを，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 金属活字の実用化
- B 羅針盤の実用化
- C 火薬の軍事使用
- D 亀船（亀甲船）の建造

4 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

ヨーロッパが大航海時代（15～17世紀）をむかえたころのアジアの動向を見てみよう。

15世紀前半の明では、^[ア]鄭和を指揮官とする南海遠征が実施された。この南海遠征では、^[イ]東南アジアやその他のインド洋沿岸地域への遠征船隊の派遣が約30年間に7回実施された。その結果、それらの地域の新鮮かつ豊富な情報が明にもたらされ、またこの地域の諸国の明への朝貢も促進された。

これに対して、ヨーロッパ側からアジアへのアプローチは、15世紀末期に開始された。ヴァスコ＝ダ＝ガマの率いるポルトガルの船団は、1498年、アラビア海を横断してインド西岸の港市^[ウ]に到着した。1510年、ポルトガルはやはりインド西岸の港市である^[エ]を占領し、その後この港市はポルトガルのアジア交易の拠点となった。その当時のインドは^[オ]デリー＝スルタン朝のうちの第5番目の王朝によって支配されていた。しかし、この王朝の軍勢は1526年パーニーパットの戦いに敗北し、同年デリーを首都として^[カ]ムガル帝国が建国された。この帝国は19世紀後半まで続いた。

東南アジアでは、14世紀末または15世紀初期ころ、マラッカ海峡に面したマレー半島西岸に^[キ]が建国された。15世紀前半、この王国は^[ク]タイの王朝やジャワの王国の圧力に震える微弱な勢力にすぎなかった。だが、15世紀中ごろ以降は東南アジア有数の^[ケ]港市国家として繁栄した。

1511年、ポルトガルはこの王国を倒してその港市を獲得し、その後香辛料の産地であるモルッカ（マルク・香料）諸島へ進出した。1557年、ポルトガルは明から^[コ]の居住権を獲得して東アジア交易にも参加した。スペインは、ポルトガルにやや遅れたものの、やはり16世紀初期にモルッカ諸島へアプローチした。1519年、マゼラン（マガリャンイス）は大西洋から太平洋に入り、太平洋を横断してフィリピン諸島に到着した。彼自身はそこの現地人に殺害されたが、残った部下たちはモルッカ諸島に到達した。スペインは、16世紀後半には、^[サ]を拠点としてアカプルコ貿易を展開し、^[シ]中国製品を買い付けた。

設問36 下線部 [ア] について、この人物が抜擢される契機となったのは14世紀末から15世紀初期に発生した事件における活躍であるという。その事件を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 紅巾の乱
- B 靖難の役
- C 土木の変
- D 三藩の乱

設問37 下線部 [イ] について、この遠征船隊の派遣事業が始まった時の皇帝を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 洪武帝
- B 建文帝
- C 永楽帝
- D 乾隆帝

設問38 に入る港市名を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A カリカット
- B キルワ
- C ボンベイ
- D マリンディ

設問39 に入る港市名を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A カルカッタ
- B ゴア
- C ザンジバル
- D ペグー

設問40 下線部 [オ] について，この王朝名を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A サイド朝
- B トゥグルク朝
- C ハルジー朝
- D ロディー朝

設問41 下線部 [カ] の帝国について，第6代皇帝の時代に発生した出来事としては不適切なものを以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ヒンドゥー教徒に対する弾圧がおこなわれた。
- B 外征により，この帝国の最大領土を実現した。
- C 戦費の増大により，この帝国の衰退が始まった。
- D 前皇帝死後の混乱から帝国を再興し，アグラに遷都した。

設問42 下線部 [カ] について，この帝国の滅亡に直結した事件を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A シク戦争
- B シパーヒーの反乱
- C マイソール戦争
- D マラーター戦争

設問43 下線部 [カ] の帝国の支配層とデリー＝スルタン朝の支配層との共通点を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A インダス川流域地方出身のイスラーム勢力であること
- B ガンジス川流域地方出身のイスラーム勢力であること
- C インド南部出身のイスラーム勢力であること
- D インドの外部から進出したイスラーム勢力であること

設問44 に入る王国名を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アチェ王国
- B ヴィジャヤナガル王国
- C ソンガイ王国
- D マラッカ（ムラカ）王国

設問45 下線部 [ク] について，具体的なタイの王朝名を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アユタヤ朝
- B クシャーナ朝
- C スコータイ朝
- D マウリヤ朝

設問46 下線部 [ク] について，具体的なジャワの王国名を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アステカ王国
- B バンテン王国
- C マジャパヒト王国
- D マタラム王国

設問47 下線部 [ケ] について，港市国家の代表的な例を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A シュリーヴィジャヤ王国
- B サータヴァーハナ朝
- C チョーラ朝
- D 唐

設問48 に入る地名を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 広州
- B 九龍半島
- C 香港
- D マカオ

設問49 に入る港市名を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A アンボイナ
- B サイゴン
- C ペナン
- D マニラ

設問50 下線部 [シ] について，購入された主な中国製品を，以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 絹や陶磁器
- B 茶や砂糖
- C 香辛料や大砲
- D 刀剣や漢方薬

5 以下の問題文を読み、それぞれの設問の指示にしたがって解答しなさい。

19世紀前半からオスマン帝国の諸民族が自立化の動きを加速させると、ヨーロッパ諸国はこれに介入して、バルカン半島一帯に勢力を伸ばそうとして競合するようになった。こうして生じた外交・国際問題は、ヨーロッパから見て東方問題と呼ばれた。とくにロシアはかねてより [ア] の不凍港から地中海へと抜ける^[イ] ボスフォラス・ダーダネルス両海峡の自由航行権の確保を目指す南下政策を追求しており、これを阻止しようとするイギリスをはじめとする列強とのあいだで対立が生じた。

ロシアの [ウ] は1831年に始まった^[エ] エジプト＝トルコ戦争に乗じて、両海峡の自由航行権を獲得したが、イギリスの干渉によってその撤回を余儀なくされた。ついでロシアは^[オ] ギリシア正教徒の保護を口実として、1853年にオスマン帝国に侵攻した。この^[カ] クリミア戦争にはロシアの南下を阻止するために、イギリスとフランスがオスマン帝国側について参戦した。激戦の末、ロシアは敗れ、1856年にパリ条約で [ア] の中立化が決定した。ロシアではこの敗北に対する反省から、戦争末期に即位した^[キ] アレクサンドル2世のもとで大改革が行われた。

1870年代、オスマン帝国内のスラブ諸民族の独立運動が活発になると、ロシアはスラブ民族の連帯と統一を主張するパン＝スラブ主義を唱え、南下政策を再開した。ボスニア＝ヘルツェゴヴィナの反乱がオスマン帝国に弾圧されたことをきっかけに、1877年、ロシアはトルコに宣戦し、ロシア＝トルコ戦争がはじまった。翌年、ロシアは [ク] 条約を締結して、バルカン半島への勢力拡大にいったん成功した。しかしイギリスとオーストリアがこれに反対すると、^[ケ] ドイツ首相ビスマルクの調停で1878年にひらかれたベルリン会議であらたに^[コ] ベルリン条約が締結され、ロシアの南下政策はまたも阻止された。

設問51 [ア] に入る語を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A エーゲ海
- B バルト海
- C 黒海
- D カスピ海

設問52 下線部 [イ] に関連して、ボスフォラス海峡に面する都市イスタンブルはビザンツ帝国（東ローマ帝国）時代、コンスタンティノーブルと呼ばれた。このコンスタンティノーブルに関する説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 1453年にオスマン帝国によってビザンツ帝国が滅ぼされるまで、千年以上、途切れることなくビザンツ帝国の首都であり続けた。
- B ソリドゥス金貨を継承したノミスマ金貨を基軸とする地中海交易の中心地として繁栄した。
- C ユスティニアヌス1世（大帝）は同地にハギア（セント）＝ソフィア大聖堂を建設させた。
- D コンスタンティノーブルという名称は330年に同地に遷都した皇帝の名に由来する。

設問53 に入る人物名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ピョートル1世（大帝）
- B アレクサンドル1世
- C イヴァン4世（雷帝）
- D ニコライ1世

設問54 下線部〔エ〕の説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ムハンマド＝アリーはオスマン帝国にシリアの領有を求めたが、認められなかったため、開戦した。
- B この戦争の講和会議で、エジプトに不平等な通商条約が押しつけられた。
- C ロシアは南下政策を促進するため、エジプトを支援した。
- D ムハンマド＝アリーにエジプト総督とスーダン総督の地位の世襲が認められた。

設問55 下線部〔オ〕に関連して、ギリシア正教についての説明として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 726年にビザンツ皇帝レオン3世の発布した聖像禁止令にローマ教会は激しく反発し、その際にギリシア正教会とローマ教会は完全に分裂した。
- B ギリシア正教をスラブ人に広めるためにキリル文字が考案された。
- C ビザンツ帝国の滅亡後、モスクワ大公国がギリシア正教の中心であると主張し、ロシア正教が発展した。
- D キエフ公国の大公ウラディミル1世はビザンツ皇帝の妹と結婚し、ギリシア正教を国教とした。

設問56 下線部〔カ〕に関連して、クリミア半島に関する記述として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A クリミア半島にあるセヴァストポリ要塞は、クリミア戦争の激戦地となった。
- B 1453年にビザンツ帝国を滅ぼしたスレイマン1世は、クリミア半島を支配していたクリム＝ハン国を服属させた。
- C 18世紀後半にロシアのエカチェリーナ2世はオスマン帝国と戦って、クリミア半島を獲得した。
- D ロシアは2014年にウクライナ領のクリミア半島を併合した。

設問57 下線部〔キ〕の治世に起こった出来事として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 改革を追求する都市の知識人の中から、ナロードニキ運動が起こった。
- B 1861年に出された農奴解放令によって、農地の分与が有償で行われた。
- C ポーランド独立運動が起こると、ふたたび専制政治が強化された。
- D シベリア鉄道の建設が開始された。

設問58 に入る地名を、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ロンドン
- B サン＝ステファノ
- C イスタンブル
- D ウィーン

設問59 下線部 [ケ] についての記述として不適切なものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A 彼が行ったカトリック勢力に対する弾圧政策は文化闘争と呼ばれた。
- B フランスとの戦争で勝利を収め、アルザス・ロレーヌを獲得した。
- C ドイツ社会主義労働者党の伸張に対抗し、社会主義者鎮圧法を制定した。
- D 彼が唱えた軍事力によるドイツ統一政策は富国強兵策と呼ばれた。

設問60 下線部 [コ] について、ベルリン条約で独立を承認された国に含まれないものを、以下のA～Dの中から選択しなさい。

- A ルーマニア
- B モンテネグロ
- C ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ
- D セルビア

